



博多港では、新規物流ルートの構築を支援し、
その効果検証を行うトライアル推進事業を実施します。

平成30年度 博多港コンテナ物流トライアル推進事業 【協力企業募集】



トライアル経費として **1事業あたり 最大100万円** 支援

<p>対象事業</p>	<p>① 博多港利用による新たな物流ルート であること ② 国際海上コンテナ貨物又は国際RORO定期航路の利用貨物 であること ※本格利用後のコンテナ取扱量について、年間25TEU以上が見込まれることが条件となります。 (RORO船利用のコンテナ以外の荷姿の貨物についても、同程度の貨物量が条件となります。) ※コンテナ以外の貨物の場合、事前に事務局にご連絡ください。貨物量について個別に確認させていただきます。 ただし、下記の重点事業については、年間25TEUに満たない場合も対象となります。</p> <p>【重点事業】 ア 農産物の輸出に関する事業 イ Sea&Rail や Sea&Sea などモーダルシフトに関する事業 ウ 越境ECに関する事業 エ 日本海側貨物の集荷にかかる事業</p> <p>③ 博多港の利用により物流面の改善効果・機能向上（コスト・リードタイム削減、環境負荷低減、BCP対応等）が見込まれること (平成29年度実施事業は裏面参照)</p>
<p>支援内容</p>	<p>トライアル経費：1事業あたり最大100万円 ※トライアル輸送に要する経費（海上運賃、国内輸送費用、輸出入手続き・通関費用など）が対象です。 【募集事業数】 10事業（予定）</p>
<p>申請要件</p>	<p>1) 対象企業：荷主または物流事業者 2) 効果検証等への協力 ※本事業で収集した情報は、本事業の趣旨以外の目的では使用しません。 ① 事業者が持つトライアル輸送関連情報の提供（事前・事後） ② トライアル輸送に係るヒアリング調査への協力（事前・事後） ③ 事業結果の活用（博多港セミナー等での紹介）への同意 ※情報開示内容は事業者と協議の上決定します。</p>
<p>参加方法</p>	<p>所定の書類（参加申請書）を提出していただきます。（郵送またはE-mail） 提出書類を審査し、対象事業者を選定します。 【申請書受付期間】平成30年7月2日～7月31日（8月・事業者決定予定） ※応募に関する詳細は、博多港ホームページに掲載する予定です。 博多港ホームページ http://port-of-hakata.city.fukuoka.lg.jp/</p>

☆後期募集も予定しております☆

後期募集内容（予定）

- ・募集事業数 : 5事業
- ・申請書受付期間 : 2018年12月～2019年1月31日（2月中・事業者決定）
- ※RORO船を利用する事業については対象外

■実施主体：博多港ふ頭株式会社 営業課

■お問合せ先：博多港コンテナ物流トライアル推進事業事務局

【(株)地域開発研究所 担当：小玉】

〒110-0015 東京都台東区東上野2-7-6 東上野T・ビル

TEL：03-3831-2917 FAX：03-3836-4048

E-mail：tomoe-y@rdco.co.jp（小玉）

■実施主体：福岡市港湾空港局 港湾振興部 物流推進課

平成29年度 対象事業例

輸入

輸入商材の全国向け検品・配送拠点のシフト【伊勢湾港→博多港】

卸売業

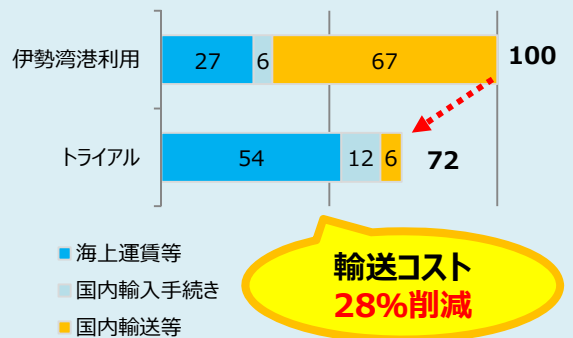
事例 1

- ☆背景☆ 輸入商材の検品・配送の効率化が課題
⇒博多港に拠点を設け、検品作業の内省化・物流効率化
- ☆概要☆ 博多港近隣の拠点利用による物流効率化，コスト削減・リードタイム短縮にチャレンジ！
- ☆成果☆ ① 輸送コスト大幅削減！ リードタイム短縮！
② 国内配送拠点の機能向上

・博多港での荷揚げ&自社配送拠点での検品作業（内省化）へのシフトにより，トータル物流コストが削減！



輸送コストの比較（従前を100とする）



輸入

台湾からのRORO船を利用した緊急輸送【AIR→博多港】

化学メーカー

事例 2

- ☆背景☆ 緊急時はAIRを利用 ⇒ +2日程度でコスト削減できれば海上輸送も利用可能
- ☆概要☆ 博多港利用によるコスト削減，環境負荷低減にチャレンジ！
- ☆成果☆ ① 輸送コスト削減！ 定時性の高いRORO船利用によりスケジュールも安定！
② CO2排出量大幅削減！

・急送品のAIR輸送増加により，増大していた輸送コストが削減！
・定時性の高いRORO船利用により，スケジュールが安定！



輸送コストの比較（従前を100とする）

